

ガランタミンOD錠8mg「JG」の安定性試験 (加速試験)

1. 試験目的

ガランタミンOD錠8mg「JG」の市場流通下での安定性を推測するために加速試験を実施した。

2. 保存条件、包装形態

保存条件: 40±1°C/75±5%RH

包装形態: (1) PTP包装 PTP+アルミピロー(乾燥剤入り)+紙箱

PTP(ポリ塩化ビニル・ポリエチレン・ポリ塩化ビニリデン複合シート、アルミニウム箔)

アルミピロー(アルミニウム・ポリエチレンラミネートフィルム)

乾燥剤(塩化カルシウム)

(2) パラ包装 ポリエチレン容器+ポリエチレン製蓋(乾燥剤付)+紙箱

乾燥剤(シリカゲル)

3. 試験項目、規格

試験項目	規格
性状	微赤色の素錠
確認試験	液体クロマトグラフィー: 試料溶液と標準溶液の主ピークの保持時間は等しい。それらのピークの吸収スペクトルは同一波長のところに同様の強度の吸収を認める。
純度試験(類縁物質)	液体クロマトグラフィー: 各々の類縁物質は0.1%以下 総類縁物質量は0.5%以下
製剤均一性(含量均一性試験)	判定値15.0%を超えない
崩壊性	2分以内
溶出性	パドル法、900mL、50rpm、水: 15分間で85%以上
含量(定量法)	表示量の95.0-105.0%

4. 試験結果

(1) PTP包装

試験項目	試験開始時	1ヵ月後	3ヵ月後	6ヵ月後
性状	適合	適合	適合	適合
確認試験	適合	—	—	適合
純度試験(類縁物質)	適合	適合	適合	適合
製剤均一性	適合	—	—	適合
崩壊性(秒)	15-37	21-30	21-32	22-30
溶出性(%)	95.3-103.0	96.1-102.2	97.1-103.1	96.6-101.9
含量(%)	101.04	100.70	101.75	101.12

崩壊性、溶出性: 最小-最大 含量: 平均

(2) パラ包装

試験項目	試験開始時	1ヵ月後	3ヵ月後	6ヵ月後
性状	適合	適合	適合	適合
確認試験	適合	—	—	適合
純度試験(類縁物質)	適合	適合	適合	適合
製剤均一性	適合	—	—	適合
崩壊性(秒)	15-37	22-30	19-29	20-27
溶出性(%)	95.3-103.0	97.7-104.2	97.5-102.4	96.7-101.5
含量(%)	101.04	101.03	101.84	101.64

崩壊性、溶出性:最小-最大 含量:平均

5. 結論

ガランタミンOD錠8mg「JG」の加速試験を行った結果、すべての項目において規格に適合した。従って、本品は通常の市場流通下において3年間安定であると推測された。

令和2年4月

002